

東京都感染症マニュアル2018 正誤表

記載事項に下記のとおり誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

ページ	内容	修正前(誤)	修正後(正)
5	表の記載	※二類感染症の表の一部 6 鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9)	※二類感染症の表の一部 6 鳥インフルエンザ H5N1 7 鳥インフルエンザ H7N9
106	誤表記	※右下の表の薬剤名 (2か所) リファンシピン	※右下の表の薬剤名 (2か所) リファンピシン
110	誤表記	消火器	消化器
113	誤表記	スミスソ	スミスリン
115	新規	※四種病原体等 インフルエンザウイルス(H2N2、H5N1、H7N7)	※四種病原体等 インフルエンザウイルス(H2N2、H5N1、H7N7、 H7N9)
166	文字抜け	※治療 有効な抗ウイルスは開発されていないので...	※治療 有効な抗ウイルス 薬 は開発されていないので...
172	矢印の向き	感染経路 → 病原体 → 疫学的特徴	感染経路 ← 病原体 ← 疫学的特徴
196	内容訂正	※検査 (4)IgM抗体の検出	※検査 (4)IgM抗体の検出(ペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意上昇)
197	内容訂正	※検査所見 ...約7日目以降ではIg M が陽性となる。	※検査所見 ...約7日目以降ではIg G が陽性となる。
197	文字抜け	※検査所見 ...行政検として検査可能である。	※検査所見 ...行政検 査 として検査可能である。
201	文字抜け	※発生状況 ...新規のあり、	※発生状況 ...新規の ウイルス であり、
202	誤表記	病原体(リ ツチケ ア)	病原体(リ ケツチ ア)
208	文字重複	※疫学的特徴 サルの唾液や培養細胞が付着 した したりして...	※疫学的特徴 サルの唾液や培養細胞が付着したりして...
212	内容訂正	病原体(ウイルス)	病原体(細菌)
216	文字抜け	※治療 有効なウイルス剤はない。	※治療 有効な 抗 ウイルス剤はない。
226	内容訂正	※治療 ドキシサイクリン 200mg/日 1 ～21日間	※治療 ドキシサイクリン 200mg/日 10 ～21日間
226	内容訂正	病原体(スピロヘータ)	病原体(細菌)
239	文字重複	※治療方針 第一選択薬としてテトラサイクリン系抗菌薬 を を投与する。	※治療方針 第一選択薬としてテトラサイクリン系抗菌薬を投与する。
248	内容訂正	病原体(ウイルス)	病原体(細菌)
257	誤表記	※検査所見 変異型CJDでは花弁状の空 胞 に囲まれた...	※検査所見 変異型CJDでは花弁状の空 胞 に囲まれた...
258	内容訂正	病原体(ウイルス)	病原体(細菌)
259	誤表記	※発生状況 感染症5類疾患で届 け 出が義務づけられて...	※発生状況 感染症5類疾患で届出が義務づけられて...
259	誤表記	※感染経路 ...小さな皮膚の 障 害が...	※感染経路 ...小さな皮膚の 傷 害が...

東京都感染症マニュアル2018 正誤表

記載事項に下記のとおり誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

ページ	内容	修正前(誤)	修正後(正)
264	内容訂正	病原体(<u>ウイルス</u>)	病原体(<u>細菌</u>)
268	内容訂正	病原体(<u>ウイルス</u>)	病原体(<u>細菌</u>)
282	誤表記	※表題、届出基準 バ <u>イ</u> コマイシン耐性腸球菌 (4か所)	※表題、届出基準 バ <u>ン</u> コマイシン耐性腸球菌 (4か所)
298	内容訂正	病原体(<u>ウイルス</u>)	病原体(<u>細菌</u>)
299	文字抜け	※病原体 ペニシ <u>ン</u> 耐性株の報告は・・・	※病原体 ペニシ <u>リン</u> 耐性株の報告は・・・
300	内容訂正	病原体(<u>クラミジア</u>)	病原体(<u>細菌</u>)
302	内容訂正	Viral gastroenteritis	Viral gastroenteritis (<u>Norovirus</u>)
328	内容訂正	病原体(<u>クラミジア</u>)	病原体(<u>細菌</u>)
339	誤表記	※拡大防止 疥癬の発生時対応 <u>138</u> ページ・・・	※拡大防止 疥癬の発生時対応 <u>112</u> ページ・・・
344	内容訂正	病原体	病原体(<u>細菌</u>)
364	内容訂正	病原体(<u>ウイルス</u>)	病原体(<u>細菌</u>)
371	誤表記	※治療方針 アンピ <u>リ</u> シ <u>ン</u>	※治療方針 アンピ <u>シ</u> リ <u>ン</u>